

♪お知らせや学校だよりのカラー版、行事予定等を学校ホームページで掲載しています。ご覧ください♪

高く 広く 強く 豊かに

学校だより



2023（令和5）年9月5日

伊賀市立阿山中学校

No.7 伊賀市千貝 10 番地

<http://www.iga.ed.jp/ayama-j/>

2学期がスタートして1週間が経ちました。まだまだ昼間の暑さは厳しいですが、朝夕の心地よい風に秋の訪れを感じます。昨日より給食が始まり、子どもたちも本格的スタートにエンジンをかけ直しています！今週は、3年生の実力テストや全校人権集会があります。そして、来週には2年生の職場体験学習が4年ぶりに3日間かけて実施されます。さまざまな体験や経験を積んで、ぐっと成長できる2学期にしましょう。

～全国学力学習状況調査 結果報告～

この調査は、毎年全国の小学6年生と中学3年生を対象に4月に実施しています。生徒の学力学習状況を把握し、授業や生活の改善に役立てることを目的として、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も実施しています。文部科学省から公表された調査結果に基づき、本校の状況と課題をお伝えします。



1. 教科に関する調査結果について

中学校では、国語・数学の2教科を毎年実施し、理科・英語を3年に1度程度で実施します。今年度教科に関する調査は、国語と数学と英語の3教科を実施しました。

<本校の結果>

国語	数学	英語
全国と比べて上回っている	全国と比べて上回っている	全国と比べてほぼ同じである

<国語> 基本的な力がついている生徒が多いと考えられます。ただ、知識として学習したことは答えられるのですが、資料や文章から分析して書くことが苦手という結果から、今後は、自分の言葉で、自分の考えを「書く」場面や、「話す」場面を増やしていきます。

<数学> 計算・統計・関数分野で学習の成果が出ています。課題は、図形分野の説明する問題において苦手であるという結果がみられたので、数学的用語を使って最後まで説明する力をつけられるよう、授業や定期テストで扱っていきます。

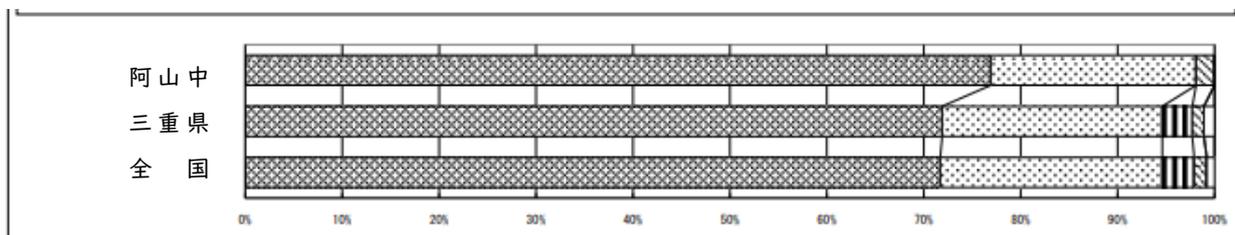
<英語> 長文を読んで必要な情報を読み取る力や、内容の要点を捉える力、また、短い英文をつくるために必要な文法の知識は身につけているといえます。ただ、「書く」力においては、語彙力の不足があります。さらに英文にする前にまず（母語として）適切な文章を組み立てる力が必要になるので、全ての教科において自分の考えを言葉にする取組をしていきたいと考えます。

2. 生徒質問紙調査結果について

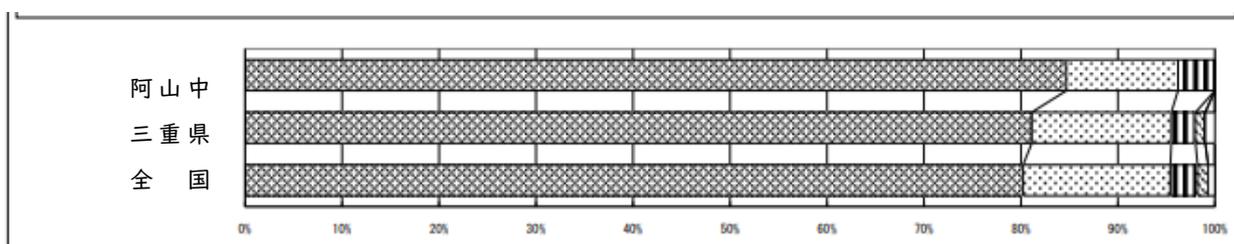
「生徒質問紙」は、アンケート形式で72問。生徒一人ひとりが自分のことについて振り返りました。紙面の関係上一部になりますが、全国との比較から本校の特徴をお知らせします。グラフについては、阿山中生の強みと考えられる項目の文頭に「○」、課題と考えられる項目の文頭に「●」を表示しました。

※それぞれの質問に対してグラフ左側から「1. 当てはまる 2. どちらかといえば当てはまる 3. どちらかといえば当てはまらない 4. 当てはまらない 5. その他 6. 無回答」の割合になっています。また、項目の【 】内は、「1」または「2」と回答している割合を示しています。

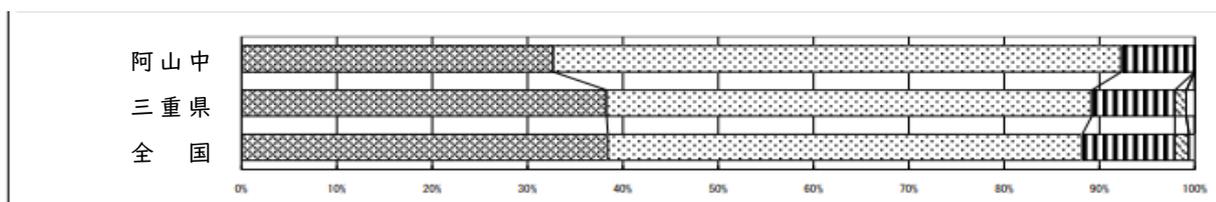
○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。【98.1%】



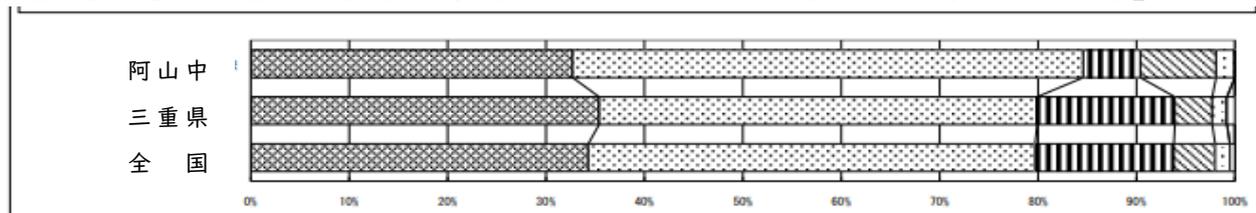
○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。【96.2%】



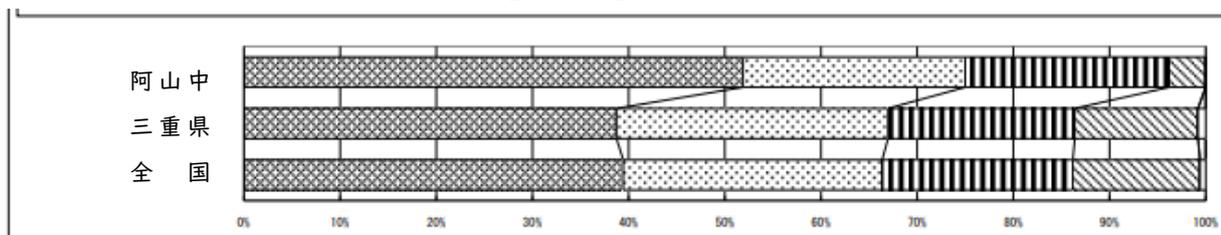
○人が困っているときは、進んで助けていますか。【92.3%】



○話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか。【84.6%】



○将来の夢や目標を持っていますか。【75%】

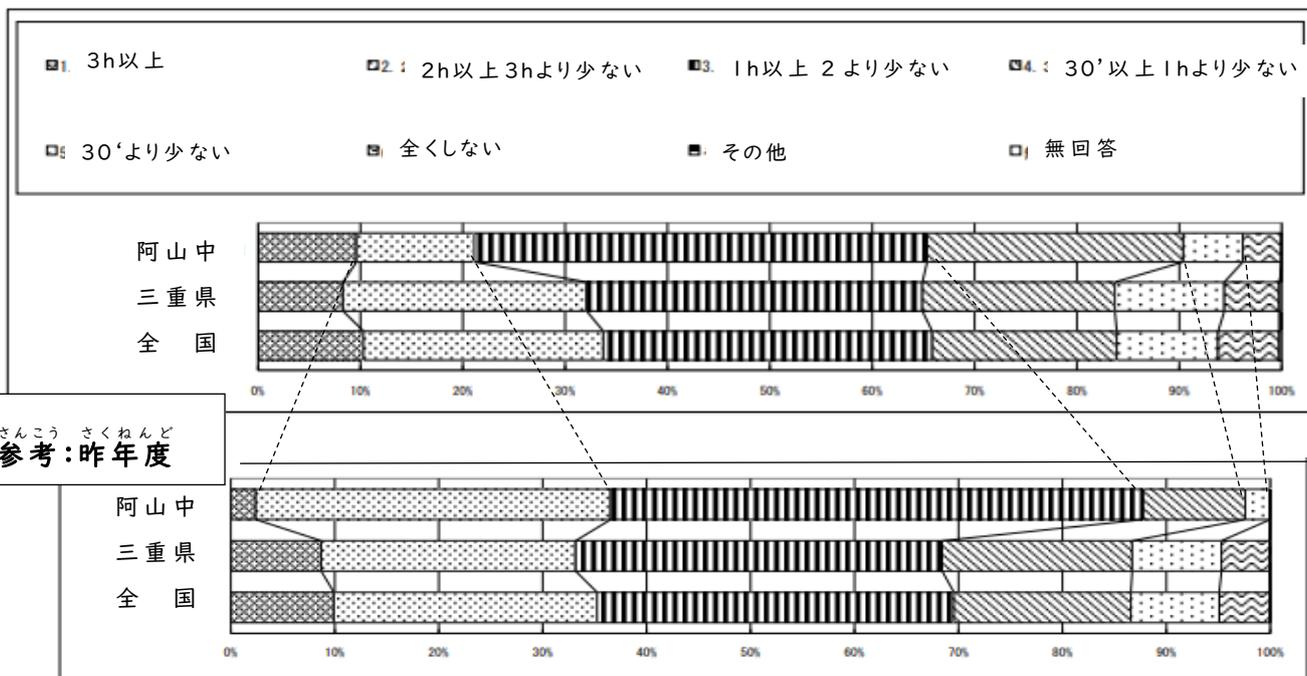


以上の項目以外では、「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「友達関係に満足している」「読書が好き」「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい」「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う」という項目で全国を上回る回答がありました。

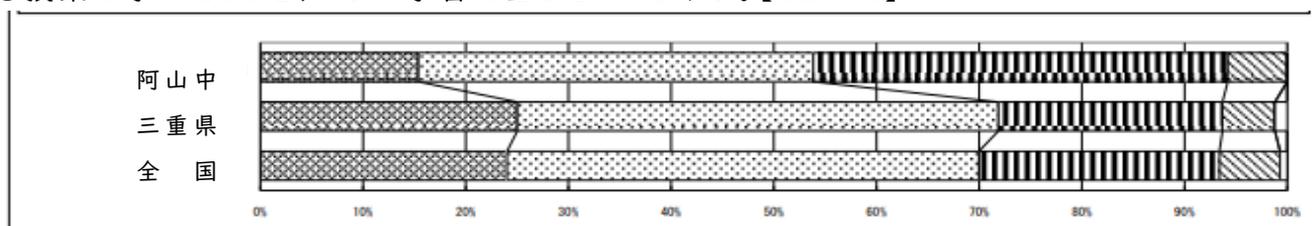
今年度の大きな課題と考えられるのは、家庭学習の時間の少なさです。4月にとったアンケートということもあり、現在も同様というわけではないと思いますが、昨年度(4月の結果)と比較してもかなり少ないことがわかります。学校生活では、意欲的に取り組んでいるだけに大変もったいない結果でした。本校のマニフェスト目標では、家庭学習の時間は、平日90分以上、休日3時間以上です。今日から、今ここから改善していきたいと思ひます。



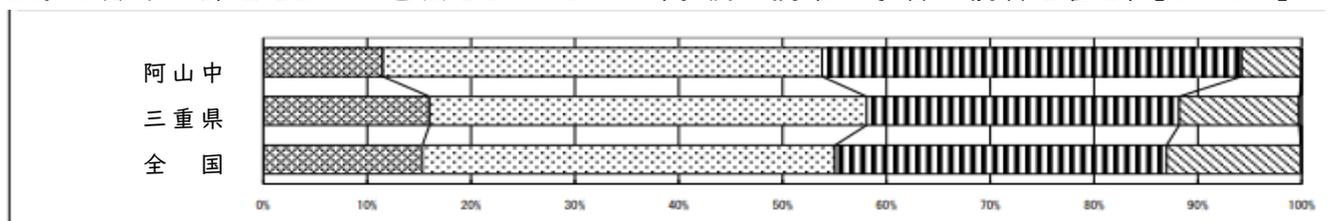
● 平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



● 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。【53.9%】



● 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)【53.8%】



勉強は、時間だけ長ければ良いというものではありませんが、学校の授業でわかった!ということを実に自分の力で出来るようになるには、どうしても家庭学習の量が必要になります。与えられた課題だけでなく、「自分で計画を立てて学習する習慣」が大事です。受検(受験)を意識する学年になると学校の課題にプラスして「自分の課題を見つけ、自分で勉強する力」が重要になります。

1・2年生のみなさんも早すぎるということはありませんよ!

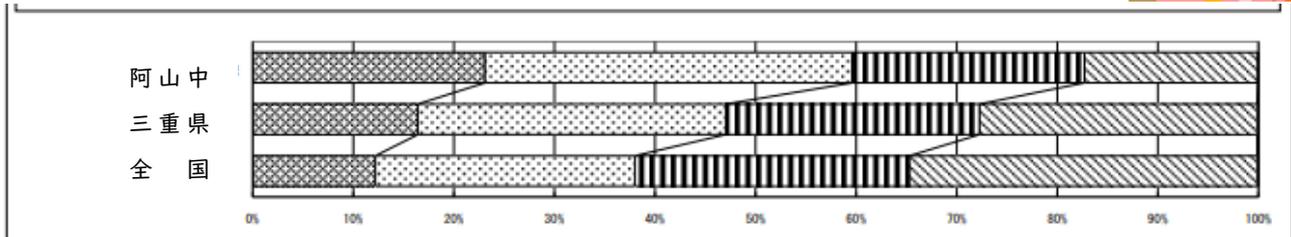
本校の特徴として、地域とのつながりを大切にしているという良さがあります。

それを表しているのが、以下のグラフになります。しかしながら、(その次のグラフに示すように)現状に満足しているのか、自分から何かしようという意欲は予想より低い結果になりました。

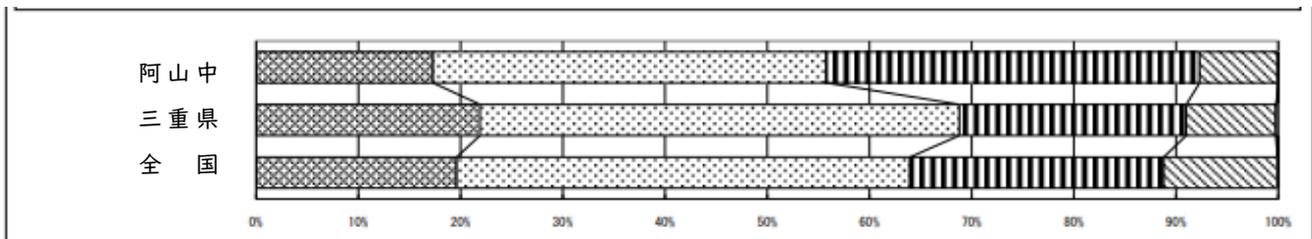
また「読書は好き」と回答した生徒が71.2%と全国を上回っているのに対して、新聞は「ほとんど読まない、または、全く読まない」と回答している生徒が80%をこえています。



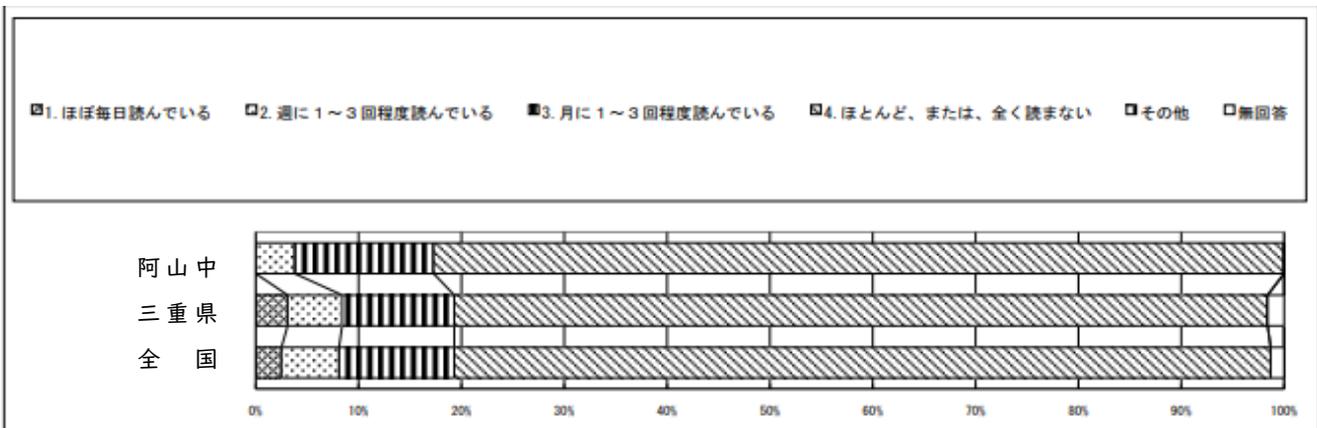
○今住んでいる地域の行事に参加していますか。【59.6%】



●地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。【55.8%】



●新聞を読んでいますか。【ほぼ毎日0% ほとんど、または全く読まない82.7%】



テレビやインターネットでも情報を得ることはできるのですが、多くの人は、インターネットでニュースを見る場合、関心のある分野の出来事ばかりを探しながら読んでしまう傾向があります。一方、新聞では、関心のある記事だけでなく興味のない分野に関する記事も目にします。そのことが、社会の大きな流れをつかむ機会になったり、新しい視点から物事を見る目を育てたりするという効果があります。能動的に社会に目を向けていけるよう、学校でも新聞にふれる機会を工夫して設けていきたいと考えています。

「授業でわかったことができるようになるよう、家庭学習をしっかりとやろう！」
 「本や新聞を読む機会を増やし、コミュニケーション力や語彙力を伸ばそう！」

